



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第10号

新発田市上今泉 366 番地 1 Ⅱ 33-2435

児童数 280 人 (H31.2.14 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

ピア・サポートで学校づくり

教務主任 岩佐 一登

加治川小学校は、創立10周年を迎え、昨年(2019年)の10月に記念式典を盛大に開催することができました。この10年間、教育活動の中核にピア・サポートの理念を取り入れた教育課程を編成し実践してきました。

このピア・サポートの理念を具体化したのが「ピアサポートプログラム」です。「桜っ子グループ」の全校縦割り班で行うさまざまな活動はもちろん、いろいろな学校行事、生活指導にもこのピアサポートプログラムが大きくかかわっています。新しい加治川小学校が開校になった時、「いじめのない、あたたかい人間関係を築きたい」「子どもたちに自己有用感をもたせたい」との願いから、このピアサポートプログラムを教育課程に位置づけて、全職員で実践してきたのです。

では、ピア・サポートとは、何でしょう。現在、少子化、都市化、それによる遊びの変容により子どもたちの関わり方は、以前とは大きく変わってきたように思います。

以前は、異年齢集団では、黙っていても大きい子が小さい子のお世話をしていました。また、小さい子は、遊びの仲間に入れてもらうためにどう行動することがよいのかを自然に学んでいました。しかし、現在は、「面倒なことに首をつっこみたくない」「関わりたい気持ちはあっても、どう関わっていけばよいのかが分からない」・・・そんな子どもたちが増えているように思います。ピア・サポートは、主に異年齢集団のリーダーとなる6年生が、下級生をお世話する活動を通して、お世話する側、つまり6年生の自己有用感を育てていくものであり、同時に子どもの社会性を養うことで、いじめや不登校、学級崩壊などを未然に防ぐプログラムなのです。

ピア・サポートプログラムは、次の2つの領域から構成されています。

「領域－2」・・・お世話をする活動

・・・6年生に自己有用感をもたせる活動

「領域－1」・・・対人関係に向かう意欲をもたせるトレーニング

このプログラムは、子どもたちの急激な変化を望みません。1年生が6年生になるまでの長いスパンで見えていくものです。全職員が6年生を育てるという気持ちで、6年生に働きかけを行うことが重要です。6年生が育ち、良きリーダーのモデルとなることで、下級生も自然とよい人間関係を学んでいくことができるという考え方なのです。

そして、6年生が下級生のお世話活動をする場を意図的に設定します。うまく活動ができるたびに、1～3年生は、「6年生ってやさしいな」、「6年生大好き」、4～5年生は、「6年生ってすごい」、「6年生みたいになりたいな」という思いを抱くようになります。また、6年生自身は、お世話すると何だか気持ちがいいなという思いを抱くようになり、自己有用感が育っていくことにつながります。

つまり、自己有用感を味わいつつ、人間関係を築いていくための社会性スキルを身につけていくことになり、人間関係においてつまずきにくい子どもを育てていくことになるのです。今後もピアサポートの理念を反映した教育活動を積み重ねていきたいと思っています。

それが加治川小学校の目指す学校像「瞳輝き 笑顔あふれる学校」に限りなく近づいていくことになると確信しています。